

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

現在、消化器内科では、本学で保管している診療後の診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 難治性潰瘍性大腸炎に対するタクロリムスと生物学的製剤の併用の有効性、安全性について 後ろ向き研究

[研究対象者] 2000年1月から2025年7月までの間に消化器内科に通院した難治性潰瘍性大腸炎患者さま

[利用している診療情報等の項目]

診療情報等：診療情報等：年齢、性別、既往歴、併存疾患名、治療内容、血液検査、便検査、大腸内視鏡所見等

[利用の目的] (遺伝子解析研究：無)

難治性潰瘍性大腸炎に対し、生物学的製剤とタクロリムス（TAC）を併用するコンビネーション療法が寛解導入に有効であることを解明することを目的としています。

[研究実施期間] 倫理審査委員会承認後より2028年12月までの間（予定）

[この研究での診療情報等の取扱い]

本学倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱っています。

[機関長、研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

機関長：東京女子医科大学 理事長 清水 治

研究責任者：東京女子医科大学 消化器内科 助教 伊藤亜由美

研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学 消化器内科 伊藤亜由美

電話：03-3353-8111（応対可能時間：平日9時～16時）

